

支所001	項目名	マスツリフェスタ補助金		
主要な施策	観光キャンペーン事業費		ページ	40
年度	H26		事業の概要	
会計名			国府町総合支所 地域振興課	
一般会計		<p>【問合せ先】国府町総合支所 産業建設課 0857-39-0560 【9次総の施策体系】5201 【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P280（支所001） 【事業の概要】 「マスツリフェスタ」は、平成4年度から殿ダム建設に伴う将来の湖水並びに周辺の河川を利用したイベントとして周辺住民の協力を得て始まった。以来、町内外から多数の参加者を迎える、今や国府地域を代表する観光イベントとして定着している。 本事業は、国府地域の豊かな自然の利用を積極的に行うとともに、殿ダムの湖水を利用した地域が一体となるイベントを通して地域振興に資することを目的とし、鳥取市的一大イベントのひとつとして継続実施する。</p>		
款	商工費		『事業内容』 主 催：国府マスツリフェスタ実行委員会 時 期：平成26年5月25日（日） 場 所：殿ダム親水広場（鳥取市国府町楠城地内） 参加料：前売券 大人（中学生以上）：1,000円、子ども（小学生以下）：500円 当日券 大人（中学生以上）：1,200円、子ども（小学生以下）：600円 つかみどり無料（小学生以下） その他：地域各団体による特産品の販売・招致イベント（食・音楽イベント）	
項	商工費		【事業の成果】 平成24年度 1,944千円（参加者約 600名） 平成25年度 1,944千円（参加者約 600名） 平成26年度 2,144千円（参加者約 1,300名） 【今後の課題・方向性】 殿ダム及び殿ダム周辺広場の完成に併せ、地域の活性化対策としてより一層の充実を図る。《市民ニーズの状況》事業アンケートでは大変好評で、イベントの充実を図り継続を望む意見が多数。	
目	観光費			
(単位：千円)				
当初予算額	2,144		その他財源の内訳	
補正予算額	0		分担金	0
予算流・充用額	0		負担金	0
最終予算額	2,144		使用料	0
本年度決算額	2,144		手数料	0
区分	決算額		財産収入	0
国・県支出金	0		寄付金	0
地方債	0		繰入金	123
その他	123		諸収入	0
一般財源	2,021		その他	0
計	2,144			
(参考) 前年度決算額 1,944 評価結果 殿ダム及び殿ダム周辺広場の完成にあわせ、地域の活性化策として事業改善を行ながら一層の充実を図る。				

支所002	項目名	地域伝統芸能保存事業		
主要な施策	文化振興費		ページ	46
年度	H26		事業の概要	
会計名			国府町総合支所 地域振興課	
一般会計		【問合せ先】国府町総合支所 地域振興課 0857-39-0555 【9次総の施策体系】1202 【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P280（支所002） 【事業の概要】 「因幡の傘踊り」は徳川末期の雨乞い祈願に始まるが、その後明治時代に国府町高岡で冠傘から長柄の傘に変えたものが県東部地域を中心に普及。昭和49年には鳥取県無形民俗文化財に指定、今や県の代表的伝統芸能として位置づけられている。 「因幡の傘踊りの祭典」は、この民俗芸能を継承する各地の団体が「因幡の傘踊り」発祥の地「国府」に一堂に集い、互いの技術向上・交流及び「因幡の傘踊り」普及・発展に寄与することを目的として平成10年から実施されている。 また、「因幡の傘踊り」を研究している尚絅学院大学（宮城県名取市）からの出演があった。 『事業内容』 共 催：国府町因幡の傘踊り保存会、（公財）鳥取市文化財団因幡万葉歴史館 時 期：平成26年8月23日（土） 場 所：因幡万葉歴史館（伝承館） ○各地の保存会等による「因幡の傘踊り」の披露 ○地元小・中学生、婦人会、その他グループによる傘踊り・手笠踊りの披露 ○傘踊り体験コーナー ○地元団体や有志による特産品の販売、出店 ○花火		
款	教育費		【事業の成果】 平成24年度 820千円（参加者約2,000人） 平成25年度 820千円（参加者約2,500人） 平成26年度 820千円（参加者約3,000人） 【今後の課題・方向性】 事業アンケートでは大変好評で、継続を望む意見が多数あるため、国府地域の活性化策として、より一層の内容充実を図る。	
項	社会教育費			
目	文化振興費			
(単位：千円)				
当初予算額	820		その他財源の内訳	
補正予算額	0		分担金	0
予算流・充用額	0		負担金	0
最終予算額	820		使用料	0
本年度決算額	820		手数料	0
区分	決算額		財産収入	0
国・県支出金	307		寄付金	0
地方債	0		繰入金	0
その他	0		諸収入	0
一般財源	513		その他	0
計	820			
(参考) 前年度決算額 820 評価結果 伝統芸能の継承・保護を図る場として現在の形で継続。 学校等と連携し、教育の一環としても保存・伝承に取り組む。				

支所003	項目名	万葉集朗唱の会開催費		
主要な施策	文化振興費		ページ	46
年度	H26		事業の概要	
会計名			【問合せ先】国府町総合支所 地域振興課 0857-39-0555	
一般会計			【9次総の施策体系】1201	
款	教育費		【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P281（支所003）	
項	社会教育費		【事業の概要】 国府地域では、万葉集を編さんした大伴家持が國守として赴任し、万葉集の最後を飾る歌を詠んだ地であることにちなみ、平成6年に因幡万葉歴史館を開館、以来「万葉のふるさと」としてまちづくりをすすめてきた。 その一環として平成10年度から「万葉集朗唱の会」を開催してきており、県内外から多数の参加者を得て、万葉集への親しみや理解を深める機会として定着している。	
目	文化振興費		【事業内容】 主 催：万葉集朗唱の会実行委員会 時 期：平成26年10月19日（日） 場 所：因幡万葉歴史館（伝承館） ○万葉衣装に身を包み、大伴家持が詠んだ470余首からの朗唱（1～3首） ○曲水の宴、万葉茶席、万葉食・地産地消コーナー、子どもパレードなど	
(単位：千円)			【事業の成果】 平成24年度 1,900千円（来場者約1,700人） 平成25年度 1,900千円（来場者約1,600人） 平成26年度 1,900千円（来場者約1,700人）	
当初予算額	1,900		【今後の課題・方向性】 事業アンケートでは好評で、継続を望む意見が多く、国府地域の活性化策として、より一層の内容充実を図る。	
補正予算額	0			
予算流・充用額	0			
最終予算額	1,900			
本年度決算額	1,900			
区分	決算額		その他財源の内訳	
財源内訳	国・県支出金	711	分担金	0
	地方債	0	負担金	0
	その他	0	使用料	0
	一般財源	1,189	手数料	0
	計	1,900	財産収入	0
			寄付金	0
			繰入金	0
			賃収入	0
			その他	0
(参考)	前年度決算額 1,900		評価結果	地域住民による実行委員会組織主催のイベントで、参加者も年齢、性別を問わず、県内外からと幅広く、現在の形で継続することは妥当である。万葉のふるさととしての町づくりを進めるうえで、万葉集への親しみや理解を深める内容の工夫をしながら継続していくことが必要である。

支所004	項目名	万葉フェスティバル開催事業費		
主要な施策	文化振興費		ページ	46
年度	H26		事業の概要	
会計名			【問合せ先】国府町総合支所 地域振興課 0857-39-0555	
一般会計			【9次総の施策体系】1201	
款	教育費		【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P281（支所004）	
項	社会教育費		【事業の概要】 国府地域では、万葉集を編さんした大伴家持が万葉集最後を飾る歌を詠んだ地であることにちなみ、「万葉のふるさと」としてまちづくりをすすめてきた。	
目	文化振興費		【事業内容】 「大伴家持大賞短歌募集事業」は、因幡万葉歴史館開館の平成6年から始まり、短歌愛好家の間では全国的に周知されるところとなった。 平成21年の万葉集終焉から1250年を記念した「全国万葉フェスティバル in 鳥取」を契機に、翌22年からは従来の「大伴家持大賞短歌募集事業」と「全国万葉フェスティバル in 鳥取」の一部事業を統合し、さらに因幡の鳥取が重要な万葉故地であること、万葉のふるさと因幡の鳥取市を広く情報発信するため「万葉フェスティバル in 鳥取」として実施している。	
(単位：千円)			【事業の成果】 平成24年度 3,400千円 応募数2,763首（一般1,020首、児童生徒の部1,743首） 平成25年度 3,400千円 応募数4,017首（一般1,575首、児童生徒の部2,442首） 平成26年度 3,400千円 応募数3,111首（一般1,646首、児童生徒の部1,465首）	
当初予算額	3,400		【今後の課題・方向性】 事業アンケートでは好評で、継続を望む意見が多数。国府地域の活性化策として、より一層の内容充実を図る。	
補正予算額	0			
予算流・充用額	0			
最終予算額	3,400		その他財源の内訳	
本年度決算額	3,400		分担金	0
区分	決算額		負担金	0
財源内訳	国・県支出金	1,243	使用料	0
	地方債	0	手数料	0
	その他	81	財産収入	81
	一般財源	2,076	寄付金	0
	計	3,400	繰入金	0
			賃収入	0
			その他	0
(参考)	前年度決算額 3,400		評価結果	市の主要な文化事業のひとつと位置づける全国的規模の事業である。 現在は支所単独で実施しているが、本庁担当課との役割分担、連携により、充実した取組が必要と考える。

支所005	項目名	ウォークラリー大会実行委員会補助金		
主要な施策	体育大会費		ページ	48
年度	H26		事業の概要	
会計名			【問合せ先】教育委員会事務局 国府町分室 0857-39-0563	
一般会計				教育委員会事務局国府町分室
款	教育費		【9次総の施策体系】3103	
項	保健体育費		【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P282(支所005)	
目	体育振興費		【事業の概要】 万葉ウォークラリー大会は、国府地域の豊かな自然と豊富な文化財を体験しながら心と身体の健康づくりができるイベントとして定直している。大人から子どもまでが気軽に参加できる自然体験型のイベントとして幅広い参加者を得て開催してきた。 地域の観光振興の推進はもとより、歴史と文化の町“くふ”的PRを行った。平成26年度は殿ダムが完成したため成器地域で行った。	
(単位：千円)				『事業内容』 主催：鳥取市国府町万葉ウォークラリー実行委員会 参加料：無料 時期：平成26年10月4日(土) 場所：鳥取市国府町 ○史跡等チェックポイントを回るウォークラリー
当初予算額	316		【事業の成果】 平成24年度 316千円(参加者数37チーム、162人) 平成25年度 316千円(参加者数53チーム、224人) 平成26年度 316千円(参加者数75チーム、291人)	
補正予算額	0		【今後の課題・方向性】 受益者負担による自主財源の確保や算定基準等補助事業の内容を検討していく、新たな事業展開を図っていきたい。	
予算流・充用額	0			
最終予算額	316			
本年度決算額	316			
区分	決算額		その他財源の内訳	
国・県支出金	0		分担金	0
地方債	0		負担金	0
その他	0		使用料	0
一般財源	316		手数料	0
計	316		財産収入	0
			寄付金	0
			繰入金	0
			賃収入	0
			その他	0
(参考)			評価結果	
前年度決算額	316		算定基準等の内容を検討し、適正な補助事業の運営を図っていきたい。また、外部評価の指摘も踏まえ、受益者負担などを検討し、参加者へのサービス内容の充実を図っていく。	

支所006	項目名	福部地域活性化拠点施設整備事業費(地域の元気臨時交付金)		
主要な施策	新市域特別振興費		ページ	25
年度	H26		事業の概要	
会計名			【問合せ先】福部町総合支所 地域振興課 0857-75-2811	
一般会計				福部町総合支所 地域振興課
款	総務費		【9次総の施策体系】0201	
項	総務管理費		【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 6月補正予算・P84(支所002)、12月補正予算・P44(支所002)	
目	企画費		【事業の概要】 遊休化した旧福部幼稚園のトイレ、玄関・ポーチ・駐車場スロープ等を改修し、地域活性化の拠点施設として有効活用する。	
(単位：千円)				【事業の成果】 施設を改修したことにより、福部地域の活性化のための地域交流の拠点施設としての活用が可能となった。
当初予算額	0		【今後の課題・方向性】 管理体制等について、施設の利用団体等と協議・調整を行う。	
補正予算額	13,593			
予算流・充用額	0			
最終予算額	13,593			
本年度決算額	13,520			
区分	決算額		その他財源の内訳	
国・県支出金	0		分担金	0
地方債	0		負担金	0
その他	12,458		使用料	0
一般財源	1,062		手数料	0
計	13,520		財産収入	0
			寄付金	0
			繰入金	12,458
			賃収入	0
			その他	0
(参考)			評価結果	
前年度決算額	0		鳥取県福祉のまちづくり条例に基づき、整備された施設を地域活性化の拠点施設として有効活用する。	

支所007	項目名	らっきょう生産振興大会助成事業		
主要な施策	地域生産振興対策事業費		ページ	36
年度	H26		事業の概要	
会計名				所属名 福部町総合支所 産業建設課
一般会計		【問合せ先】福部町総合支所 産業建設課 0857-75-2814		
款	農林水産業費		【9次総の施策体系】5101	
項	農業費		【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P282 (支所006)	
目	農業振興費		【事業の概要】 ふくべ「砂丘らっきょう」100周年記念関連事業の中で、未来へつなぐらっきょうビジョン研究会を設置し、次世代を担う若手生産者が積極的に組織運営に参加できるようシンポジウムを行った。また10月に行った、らっきょう生産振興大会とタイアップして、沖縄の伊江島で調査した内容について発表し、今後の産地の維持発展のため課題の提起や、新たな取り組み、新技術の開発について意見交換し、今後の産地の発展に寄与することを目的に実施した。	
(単位：千円)				【事業の成果】 ・日本一のブランド力の維持発展につなげた。 ・若手の生産農家が抱えている課題、問題点などの解決策について協議する会を立ち上げた。 平成24年度 324千円 平成25年度 192千円 平成26年度 1,192千円
当初予算額	1,290		予算流・充用額	0
補正予算額	△98		最終予算額	1,192
本年度決算額	1,192		その他財源の内訳	
区分	決算額		分担金	0
財源内訳			負担金	0
国・県支出金	0		使用料	0
地方債	0		手数料	0
その他	745		財産収入	0
一般財源	447		寄付金	0
計	1,192		繰入金	745
評価結果	【今後の課題・方向性】 らっきょう生産農家数の減少と生産者の高齢化により、近年栽培面積が減少しつつあるが、農家数は減っても若手生産者の育成や新規就農者の受け入れ、作業受託などを行い産地を維持していく。			
(参考)				
前年度決算額	192		評価結果	生産農家やらっきょう情勢が抱えている課題、問題点などの解決策について協議・研修する場として是非とも必要な事業である。

支所008	項目名	各種団体負担金(むらづくり運動事業費、むらづくり大会補助金)		
主要な施策	各種団体負担金		ページ	46
年度	H26		事業の概要	
会計名				所属名 教育委員会事務局 福部町分室
一般会計		【問合せ先】教育委員会事務局 福部町分室 0857-75-2815		
款	教育費		【9次総の施策体系】2101	
項	社会教育費		【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P283 (支所007)	
目	社会教育総務費		【事業の概要】 まちづくり運動の中心となる協議会に活動経費の一部を助成し、住民による活気があり住みよい地域づくりを促進する。	
(単位：千円)				【事業の成果】 福部まちづくり協議会への補助金及びまちづくり推進大会の講師謝金 平成24年度 870千円 平成25年度 878千円 平成26年度 875千円
当初予算額	913		予算流・充用額	0
補正予算額	0		最終予算額	913
本年度決算額	875		その他財源の内訳	
区分	決算額		分担金	0
財源内訳			負担金	0
国・県支出金	0		使用料	0
地方債	0		手数料	0
その他	0		財産収入	0
一般財源	875		寄付金	0
計	875		繰入金	0
評価結果	【今後の課題・方向性】 今後もまちづくり運動の推進を図る中で、年々変化する社会情勢や地域の現状を踏まえ、実情に合った「地域コミュニティ計画」の基で事業が実施されているか、常に確認する必要がある。			
(参考)				
前年度決算額	878		評価結果	住民自らが地域のまちづくりの活性化に取り組むことが重要であり、まちづくりの成果の向上が大いに期待できる事業に対して助成するように交付内容を見直していく。そのための新たな交付要綱等を定め、適正な執行を行いながらまちづくりの活性化を支援していく。

支所009	項目名	鳥取砂丘らっきょう花マラソン開催費		
主要な施策	鳥取砂丘らっきょう花マラソン開催費		ページ	48
年度	H26		事業の概要	
会計名	【問合せ先】教育委員会事務局 福部町分室 0857-75-2815			
一般会計				
款	教育費			
項	保健体育費			
目	体育振興費			
(単位:千円)				
当初予算額	5,565			
補正予算額	△ 602			
予算流・充用額	0			
最終予算額	4,963			
本年度決算額	4,947			
区分	決算額			
財源内訳	国・県支出金	0		
	地方債	0		
	その他	2,563		
	一般財源	2,384		
	計	4,947		
(参考)				
前年度決算額	4,615			
評価結果	今後も鳥取砂丘や砂丘らっきょうなどの観光資源のPRを強化するとともに、誰もが気軽に参加できる健康マラソンとして参加者の増加を図り、地域を代表する魅力ある大会にしたい。			

支所010	項目名	河原地域活性化推進事業費		
主要な施策	新市域特別振興費		ページ	25
年度	H26		事業の概要	
会計名	【問合せ先】河原町総合支所 地域振興課 0858-76-3111			
一般会計				
款	総務費			
項	総務管理費			
目	企画費			
(単位:千円)				
当初予算額	308			
補正予算額	△ 128			
予算流・充用額	0			
最終予算額	180			
本年度決算額	180			
区分	決算額			
財源内訳	国・県支出金	0		
	地方債	0		
	その他	0		
	一般財源	180		
	計	180		
(参考)				
前年度決算額	306			
評価結果	小額な事業費でありながら、多くの地域住民と協働また地域住民主体で行う当事業はとても重要で、成果の高い取り組みである。特に小中学生、地域住民の安全で安心な暮らしの確保等（犯罪発生の抑止）、更なる地域の防犯活動（見守り等）に資するため、事業内容を検証しながら、事業を発展させていく必要がある。			

支所011	項目名	河原城イベント企画事業費		
主要な施策	観光活動費		ページ	40
年度	H26		事業の概要	
会計名			【問合せ先】河原町総合支所 地域振興課 0858-76-3111	
一般会計			【9次総の施策体系】5201	
款	商工費		【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P284(支所010)	
項	商工費			
目	観光費			
(単位:千円)				
当初予算額	1,420		【事業の概要】 河原城は平成6年の設立当時から地域の拠点、シンボルとしての事業を展開してきた。 また、行政、地域の各種団体と協働でイベントを実施することで、地域の活性化、まちおこしが図られている。	
補正予算額	0		委託先 風土資産研究会 開催時期 ・茶会 5月 ・月見会 9月から10月	
予算流・充用額	0			
最終予算額	1,420		【事業の成果】 河原の活性化、まちおこしを目的に、春の茶会は、チャリティー事業として収益を日赤等へ寄付している。	
本年度決算額	1,420		(集客) 茶会 月見会 平成24年度 523人 419人(悪天候のため人数減少) 平成25年度 995人 682人 平成26年度 1,001人 946人	
区分	決算額		【今後の課題・方向性】 開催内容、時期等を検討し、今後もより一層充実を図る。 鳥取自動車道の開通に伴い県外からの集客が図られたこともあり継続して実施する。	
財源内訳				
国・県支出金	0			
地方債	0			
その他	0			
一般財源	1,420			
計	1,420			
(参考)				
前年度決算額	1,394		評価結果	
両イベントは地域イベントとして定着している。また日本赤十字社のチャリティ(東日本大震災復興)にも毎年取組むなど格調高いイベントとなっている。春・秋の行楽シーズンでの来訪者が全国からあるが、来訪者数が天候に左右されるリスクがある。今後、天候に左右されにくいイベントの在り方、開催時期・内容の検討と更なる情報発信の強化を図り、来訪者の増を目指す必要がある。				

支所012	項目名	河原城開館20周年記念事業費		
主要な施策	観光活動費		ページ	40
年度	H26		事業の概要	
会計名			【問合せ先】河原町総合支所 地域振興課 0858-76-3111	
一般会計			【9次総の施策体系】5201	
款	商工費		【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 6月補正予算・P85(支所004)	
項	商工費			
目	観光費			
(単位:千円)				
当初予算額	0		【事業の概要】 お城山展望台河原城は、平成26年に開館20周年を迎えることを記念し、郷土の歴史や文化等の継承など、更なる地域内外に向けた情報発信や、イベントを通じた広報、誘客を図り、来場者数の増加と地域活性化を図る。	
補正予算額	2,000			
予算流・充用額	0		【事業の成果】 1) 年間を通じた地域・施設に纏わる歴史・文化の広報活動 ・人間国宝・前田昭博記念オリジナル切手シート配布 ・河原城オリジナル切手シート・各イベントの広報チラシ(10,300枚)、ポスター(200枚)、クリアーファイル(2,000枚)、パンフレット(300枚)の配布 ・ホームページのリニューアル作成 2) 9月21日(日)「お城山展望台河原城開館20周年記念「神話・八上比売と大穴牟遲命」開催。来場者:約300人 3) 11月30日(日)古事記をベースに各地のジオサイトとコラボしたシンポジウム「お城山展望台開館20周年記念「シンポジウム・ジオサイトからひもとく神話と伝承」を開催。来場者:120人 4) 9月6日(土)~10月5日(日)やなせなせ特別展示「人間国宝・前田昭博氏の白瓷作品展」来場者:3,139人	
最終予算額	2,000			
本年度決算額	2,000		【今後の課題・方向性】 この20周年記念事業を契機に、今後も一層の誘客等地域活性化に寄与する。 ※その他財源の諸収入は、コミュニティ事業助成金	
区分	決算額			
財源内訳				
国・県支出金	0			
地方債	0			
その他	2,000			
一般財源	0			
計	2,000			
(参考)			評価結果	
前年度決算額	0		当事業の検証・分析をしっかりと行い、河原城築城30周年記念事業に向けて記録保管するとともに、事業効果として通常時の河原城への入館者の増につなげていく必要がある。	

支所013	項目名	ライトフェスティバル事業費		
主要な施策	観光キャンペーン事業費		ページ	40
年度	H26		事業の概要	
会計名	【問合せ先】河原町総合支所 地域振興課 0858-76-3111			
一般会計				
款	【9次総の施策体系】5201			
項	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P285(支所011)			
目	【事業の概要】 霊石山と千代川という立地条件を活かしたスカイスポーツの振興は、河原のまちづくりイベントとして定着している。全国に鳥取のかわらと霊石山フライエアを広くPRするとともに、地元への経済効果県内外と地元との交流が期待される。 事業主体 ハ上姫ジャパンレディースカップ実行委員会 開催時期 9月			
(単位：千円)				
当初予算額	350			
補正予算額	0			
予算流・充用額	0			
最終予算額	350			
本年度決算額	315			
区分	決算額	その他財源の内訳		
財源内訳	国・県支出金	0		
	地方債	0		
	その他	0		
	一般財源	315		
	計	315		
(参考)				
前年度決算額	400			
評価結果	近年、スカイスポーツの競技人口減少に伴い、その活動成果等みえにくい部分もある。ジオエアで、有名な霊石山で行われるこのフェスティバルは意義があると考えるが、今後、地域住民「国英地区」との連携また観光エアとして、効果的な開催が必要と考える。また、内容を検証し、今後、実施団体が自立して運営実施していく必要がある。			

支所014	項目名	あゆ祭補助金		
主要な施策	観光キャンペーン事業費		ページ	40
年度	H26		事業の概要	
会計名	【問合せ先】河原町総合支所 産業建設課 0858-76-3115			
一般会計				
款	【9次総の施策体系】5201			
項	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P285(支所012)			
目	【事業の概要】 河原町は古くから「アユの町」として知られており、あゆの豊漁を願うと同時に、「アユの町」を広くPRするためにあゆ祭を開催するもので、平成26年で36回を迎える。夏の風物詩として定着している。また、地元の経済効果も大いに期待されている。 あゆのつかみ取り、鮎の塩焼き、川下りレース、子ども広場、子ども太鼓、女性太鼓、ステージショー、花火大会など 主催 あゆ祭企画実行委員会 開催日 平成26年8月第1土曜日(平成26年8月2日)開催 (参考：前年度実施日：平成25年8月3日) (補足：鳥取市観光協会ほか、鳥取市内で開催される夏祭の日程調整が必要)			
(単位：千円)				
当初予算額	5,126			
補正予算額	0			
予算流・充用額	0			
最終予算額	5,126			
本年度決算額	5,126			
区分	決算額	その他財源の内訳		
財源内訳	国・県支出金	0		
	地方債	0		
	その他	143		
	一般財源	4,983		
	計	5,126		
(参考)				
前年度決算額	4,926			
評価結果	毎年事業終了後、実行委員会で事業効果等検証しているが、会場の収容能力がほぼ上限に達しているため、今後の方針としては、入込客数の増加を目的とせず、事業内容を質的向上を目的としたい。また、地域と一体（共催事業のかわらまちづくりクリーンクリーン作戦・祭会場周辺の河川清掃）となった祭引き続き継続・拡大したい。			

支所015	項目名	町民スポーツの日開催費		
主要な施策	体育大会費		ページ	48
年度	H26		事業の概要	
会計名				【問合せ先】教育委員会事務局 河原町分室 0858-76-3122
一般会計				【9次総の施策体系】3103
款	教育費			【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P286(支所013)
項	保健体育費			
目	体育振興費			
(単位:千円)				
当初予算額	162		【事業の概要】 平成12年度より実施。河原地域市民を対象として健康増進及び生涯スポーツの普及拡大を願い、子どもから高齢者までスポーツを楽しむ日として「町民スポーツの日」を設け、レクレーションスポーツ大会を実施する。レクスポーツの日常生活への定着化により健康増進を目指す。	
補正予算額	0			
予算流・充用額	0		【事業の成果】 平成24年度 139千円(参加者 153人) 6月16日 グラウンドゴルフ大会 平成25年度 150千円(参加者 175人) 6月15日 グラウンドゴルフ大会 平成26年度 152千円(参加者 143人) 6月14日 グラウンドゴルフ大会	
最終予算額	162			
本年度決算額	152		【今後の課題・方向性】 高齢者が生きがいを持って健康に過ごせるまちを目指し今後も引き継ぎ実施する。	
区分	決算額	その他財源の内訳		
財源内訳		分担金	0	
国・県支出金	0	負担金	0	
地方債	0	使用料	0	
その他	0	手数料	0	
一般財源	152	財産収入	0	
計	152	寄付金	0	
その他	0	繰入金	0	
評価結果	市長を大会長とする「河原地域市民スポーツの日」として定着し、町民の参加も毎年150人前後と安定している。種目については、誰でも気軽に参加できる「グランドゴルフ大会」を近年開催しているが、他の種目も検討しながら、健康スポーツへの関心度の向上またスポーツ振興を図っていく必要がある。			
(参考)				
前年度決算額	150			

支所016	項目名	用瀬地域活性化推進事業費		
主要な施策	新市域特別振興費		ページ	25
年度	H26		事業の概要	
会計名				【問合せ先】用瀬町総合支所 地域振興課 0858-87-2111
一般会計				【9次総の施策体系】2101
款	総務費			【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P286(支所014)
項	総務管理費			
目	企画費			
(単位:千円)				
当初予算額	2,366		【事業の概要】 優れた自然景観等を観光資源として活用するため、市民との協働により地域資源の活用整備を図るとともに、更なる活性化に向けて過疎地域振興推進員を設置し用瀬地域の過疎化に関する課題解決又は活性化を図るための取り組みを行う。特に、用瀬町内の空家対策における利活用に向けた地域の体制づくりへの取り組みを行う。	
補正予算額	20			
予算流・充用額	0		【事業の成果】 平成24年度 573千円(おう穴群、中津美渓谷、三角山、洗足山の周辺整備) 平成25年度 2,346千円 (おう穴群、中津美渓谷、三角山、洗足山の周辺整備、推進員1名設置) 平成26年度 2,281千円 (おう穴群、中津美渓谷、三角山、洗足山の周辺整備、推進員1名設置)	
最終予算額	2,386			
本年度決算額	2,281		【今後の課題・方向性】 地域資源の活用整備については、維持管理等を継続して行う。自治会長会、まちづくり協議会等を通じてニーズを把握し、地域の整備と活性化を図る。	
区分	決算額	その他財源の内訳		
財源内訳		分担金	0	
国・県支出金	0	負担金	0	
地方債	0	使用料	0	
その他	0	手数料	0	
一般財源	2,281	財産収入	0	
計	2,281	寄付金	0	
その他	0	繰入金	0	
その他	0	贈収入	0	
その他	0	その他	0	
評価結果	近年の登山ブームもあり、登山愛好家が多く訪れるようになった。用瀬の豊かな自然を維持、保全する取組みであり、今後も継続して実施していくべき。			
(参考)				
前年度決算額	2,346			

支所017	項目名	ジゲおこし事業費		
主要な施策	観光キャンペーン事業費		ページ	40
年度	H26		事業の概要	
会計名	【問合せ先】用瀬町総合支所 地域振興課 0858-87-2111			
一般会計				
款	【9次総の施策体系】5201			
項	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P287(支所015)			
目	(単位：千円)			
当初予算額	1,424			
補正予算額	0			
予算流・充用額	0			
最終予算額	1,424			
本年度決算額	1,424			
区分	その他財源の内訳			
財源内訳	国・県支出金	0		
	地方債	0		
	その他	0		
	一般財源	0		
	計	1,424		
その他				
前年度決算額	1,074			
評価結果	ふれあいフェスティバルについては、定着した事業であり継続の必要性があるが、更に町内3地区住民の交流に向けた取組みを進めたい。また、川遊びフェスティバルは、器具・用具等により参加者が制限されるが、参加者増を図り一層の充実を図りたい。			

支所018	項目名	前田直衛顕彰事業費		
主要な施策	文化振興費		ページ	46
年度	H26		事業の概要	
会計名	【問合せ先】用瀬町総合支所 地域振興課 0858-87-2111			
一般会計				
款	【9次総の施策体系】1201			
項	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P287(支所016)			
目	(単位：千円)			
当初予算額	3,500			
補正予算額	0			
予算流・充用額	0			
最終予算額	3,500			
本年度決算額	3,500			
区分	その他財源の内訳			
財源内訳	国・県支出金	0		
	地方債	0		
	その他	0		
	一般財源	0		
	計	3,500		
その他				
前年度決算額	1,000			
評価結果	事業開始から3年を一つの目途に事業実施し、初期の目的はほぼ達成してきているが、地域の文化芸術の推進あるいは、地域の活性化の推進において大変重要な事業であると考えており、継続して取組みたい。			

支所019	項目名	町民音楽祭開催費(用瀬町)		
主要な施策	市民音楽祭開催費		ページ	46
年度	H26		事業の概要	
会計名			【問合せ先】用瀬町総合支所 地域振興課 0858-87-2111	
一般会計			【9次総の施策体系】1201	
款	教育費		【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P288(支所017)	
項	社会教育費			
目	文化振興費			
(単位:千円)				
当初予算額	100		【事業の概要】 用瀬町の3月3日の恒例行事として、用瀬町流しひなの館ふれあいホールを会場に、用瀬町の音楽団体・園児及び小学生や他地域の音楽団体が一堂に会し童謡を歌うもので「流しひなの館で童謡を歌う会」に委託して実施。 平成26年度は第27回を数え、用瀬町の春を告げる行事として定着している。	
補正予算額	0			
予算流・充用額	0			
最終予算額	100		【事業の成果】 平成24年度 100千円(出演8団体 参加者250名) 平成25年度 100千円(出演9団体 参加者250名) 平成26年度 100千円(出演8団体 参加者200名)	
本年度決算額	100		【今後の課題・方向性】 今後も流しひなの里の春の恒例行事として継続する。	
区分	決算額			
財源内訳	国・県支出金	37		
	地方債	0		
	その他	0		
	一般財源	63		
	計	100		
(参考)				
前年度決算額	100		評価結果	流しひなの館が完成して以来継続し実施している事業である。子どもから高齢の方までが集い、皆が心を一つにして童謡を歌うもので、用瀬町の春を告げる行事として定着しており、継続した取り組みが必要と考える。

支所020	項目名	用瀬流しひな行事		
主要な施策	観光活動費		ページ	40
年度	H26		事業の概要	
会計名			【問合せ先】用瀬町総合支所 産業建設課 0858-87-3786	
一般会計			【9次総の施策体系】1202	
款	商工費		【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P288(支所018)	
項	商工費			
目	観光費			
(単位:千円)				
当初予算額	2,133		【事業の概要】 毎年旧暦3月3日に無病息災を願って、千代川河原で桟橋に男女一対の紙雛をのせて千代川に流す情緒豊かな民俗文化行事が実施されるが、それに合わせ観光イベントを実施することにより、地域の活性化を図る。 主催である流しひな実行委員会に、行事に要する経費及びPR用観光ポスター及びパンフレット作成等の経費を補助する。	
補正予算額	0			
予算流・充用額	0			
最終予算額	2,133		【事業の実績】 平成24年度 500千円(行事の実施なし、PR用ポスター関連のみ) 平成25年度 2,133千円(4月12日実施 入込客数6,000人) 平成26年度 2,133千円(4月2日実施 入込客数8,000人)	
本年度決算額	2,133		【今後の課題・方向性】 鳥取県を代表する民俗行事であり、今後も継続して実施していくこととし、実施内容の見直し等を行い、より一層の集客を図る。	
区分	決算額			
財源内訳	国・県支出金	611		
	地方債	0		
	その他	0		
	一般財源	1,522		
	計	2,133		
(参考)				
前年度決算額	2,133		評価結果	流しひな行事は、春の風物詩として全国各地から多数の観光客の訪れる鳥取県を代表する民俗行事である。地域が一体となって流しひな文化の保存・継承に努め、観光行事として魅力あるものとするための創意工夫を重ねた取組を行っており、地域にとって必要不可欠の事業であり、今後も継続すべき事業であると考える。

支所021	項目名	流しひなマラニック大会補助金	
主要な施策	体育大会費	ページ	48
年度	H26	事業の概要	
会計名		【問合せ先】教育委員会事務局 用瀬町分室 0858-87-2288	
一般会計		【9次総の施策体系】3103	
款	教育費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P289(支所019)	
項	保健体育費		
目	体育振興費		
(単位:千円)			
当初予算額	2,112	【事業の概要】 自分の体力に合わせて種目が選択できるマラニック大会。市民相互の健康づくり及び親睦、健全なスポーツ活動の振興を図るとともに「流しひなの里用瀬」を広くPRする。	
補正予算額	0	主催: もちがせ流しひなマラニック大会実行委員会 鳥取市 鳥取市教育委員会 期日: 原則として毎年5月の第3日曜日 場所: 流しひなの館周辺 種目: マラソン 10km・5km・3km、ウォーク 5km・3km	
予算流・充用額	0		
最終予算額	2,112	【事業の成果】 平成24年度 2,112千円(参加者1,485人) 平成25年度 2,112千円(参加者1,501人) 平成26年度 2,112千円(参加者1,321人)	
本年度決算額	2,112		
区分	決算額	【今後の課題・方向性】 課題としては、施設収容人員等を考慮すれば、参加者が1,500人を超える場合の対応が大変難しいと考えられる。 事業としては、町内はもとより県外から多くの参加者がおり、本市の一大イベントとして定着しているものであり、今後も継続して実施し、本地域の更なる活性化を図り、豊かな自然や貴重な歴史資源等をPRしたい。	
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	2,112		
計	2,112		
(参考)			
前年度決算額	2,112	評価結果	健康志向が高まる中、自分の体力に合わせランニングまたはウォークの選択が出来、気軽に参加しやすい大会として好評を得ている。本市の一大イベントとして定着しており、本町の活性化を図るためにも継続して実施したい。

支所022	項目名	佐治地域活性化推進事業費	
主要な施策	新市域特別振興費	ページ	25
年度	H26	事業の概要	
会計名		【問合せ先】佐治町総合支所 地域振興課 0858-88-0211	
一般会計		【9次総の施策体系】2101	
款	総務費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P289(支所020)	
項	総務管理費		
目	企画費		
(単位:千円)			
当初予算額	2,296	【事業の概要】 「元気が出る講演会」の開催や佐治町の「梨、和紙、話、石、星」を盛り込んだ「ふれあいさじウォーキングコース」に案内板を設置し、佐治町の豊かな自然や貴重な地域文化を紹介する。又、急速に進む過疎化対策や中山間地域振興対策のため、地域課題の解決や地域活性化を促進する佐治地域振興推進員を配置した。	
補正予算額	49		
予算流・充用額	0	【事業の成果】 ・「元気が出る講演会」の開催 ・「ふれあいさじウォーキングコース」に案内看板設置 ・佐治地域振興推進員の配置 平成24年度 479千円 平成25年度 1,224千円 平成26年度 2,278千円	
最終予算額	2,345		
本年度決算額	2,278	【今後の課題・方向性】 佐治町の魅力を地域内外に発信する事業や地域課題の解決を支援する事業に取り組む。	
区分	決算額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	185		
一般財源	2,093		
計	2,278		
(参考)			
前年度決算額	1,224	評価結果	佐治地域の魅力発信し、地域団体の活動の魅力の継続と活性化を図るためにも拡充が必要。

支所023	項目名	地域おこし協力隊事業費(佐治町)		
主要な施策	新市域特別振興費		ページ	25
年度	H26		事業の概要	
会計名				
一般会計				
款	総務費			
項	総務管理費			
目	企画費			
(単位:千円)				
当初予算額	13,223			
補正予算額	△ 2,148			
予算流・充用額	16			
最終予算額	11,091			
本年度決算額	10,633			
区分	決算額			
財源内訳	国・県支出金	0		
	地方債	0		
	その他	0		
	一般財源	10,633		
	計	10,633		
(参考)				
前年度決算額	0			
評価結果	地域外の人材を積極的に誘致し、定住・定着を図ることは、都市住民のニーズに応えながら、地域力の維持、強化に資する取り組みであり、積極的な推進を図る必要がある。			

支所024	項目名	ふるさとの味祭り事業費補助金(佐治町)		
主要な施策	むらづくり活性化推進事業費		ページ	36
年度	H26		事業の概要	
会計名				
一般会計				
款	農林水産業費			
項	農業費			
目	農業総務費			
(単位:千円)				
当初予算額	1,470			
補正予算額	0			
予算流・充用額	0			
最終予算額	1,470			
本年度決算額	1,470			
区分	決算額			
財源内訳	国・県支出金	0		
	地方債	0		
	その他	0		
	一般財源	1,470		
	計	1,470		
(参考)				
前年度決算額	1,485			
評価結果	佐治地域の豊かな自然や特産物、伝統芸能、民芸品等を広くPRし、また、協働のまちづくりの推進するためにも必要。平成27年度は「公民館まつり」と合同開催とし、開催時期も10月第1日曜日に変更し、さらなる集客を目指す。また、財源の縮減を踏まえた、具体的で実効性のある取り組みを行う必要がある。			

支所025	項目名	文化振興費(佐治町地域振興課)		
主要な施策	文化振興費		ページ	46
年度	H26		事業の概要	
会計名	【問合せ先】佐治町総合支所 地域振興課 0858-88-0211			
一般会計		【9次総の施策体系】2102		
款	教育費		【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P291(支所023)	
項	社会教育費		【事業の概要】 佐治地域の宝である「佐治谷話」を保存伝承するため、佐治民話会への事業委託及び補助により佐治谷ばなし紙芝居や本の作成、小中学生への伝承活動、各地区公民館への普及活動など多様な事業を幅広く行った。	
目	文化振興費		【事業の成果】 佐治民話会による保存伝承活動への補助 平成24年度 182千円 平成25年度 279千円 平成26年度 25千円	
(単位：千円)				
当初予算額	25		【今後の課題・方向性】 平成27年度の第9次総合計画、佐治地域振興プランの実施計画の進捗管理にあたっては、財源の縮減を踏まえた、具体的で実効性のある取り組みについての進捗状況を把握する必要がある。また、可能な限り数値目標等を定めることにより、さらなる行財政改革の推進を図る。	
補正予算額	0			
予算流・充用額	0			
最終予算額	25			
本年度決算額	25			
区分	決算額		その他財源の内訳	
財源内訳	国・県支出金	9	分担金	0
	地方債	0	負担金	0
	その他	0	使用料	0
	一般財源	16	手数料	0
	計	25	財産収入	0
			寄付金	0
			繙入金	0
			賃収入	0
			その他	0
(参考)			評価結果 佐治地域の魅力を発信し、地域団体の活動の継続と活性化を図るためにより一層の拡充が必要。	
前年度決算額	279			

支所026	項目名	さじアストロパーク企画イベント等事業費		
主要な施策	さじアストロパーク運営管理費		ページ	47
年度	H26		事業の概要	
会計名	【問合せ先】佐治町総合支所 地域振興課 0858-88-0211			
一般会計		【9次総の施策体系】2102		
款	教育費		【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P291(支所024)	
項	社会教育費		【事業の概要】 平成6年に開園した、さじアストロパークの充実を図るため、アストロパーク3大祭り(星、月、雪)を行った。また、日本宇宙少年団鳥取アストロ分団へ活動補助金を交付した。	
目	さじアストロパーク管理費		【事業の成果】 アストロパーク3大祭り等(星、月、雪) 911千円 プラネタリウム独自開発番組制作 2,088千円 日本宇宙少年団鳥取アストロ分団補助金交付 50千円 計 3,049千円	
(単位：千円)				
当初予算額	3,050		【今後の課題・方向性】 平成27年度第6次行財政改革大綱の実施計画の進捗管理にあたっては、財源の縮減を踏まえた具体的で実効性のある取り組みについての進捗状況を把握する必要がある。 また、可能な限り数値目標を定めることにより、さらなる行財政改革の推進を図る。	
補正予算額	0			
予算流・充用額	0			
最終予算額	3,050			
本年度決算額	3,050			
区分	決算額		その他財源の内訳	
財源内訳	国・県支出金	0	分担金	0
	地方債	0	負担金	0
	その他	0	使用料	0
	一般財源	3,050	手数料	0
	計	3,050	財産収入	0
			寄付金	0
			繙入金	0
			賃収入	0
			その他	0
(参考)			評価結果 地域特性を活かした佐治町の基幹施設であり、より一層の拡充が必要。	
前年度決算額	3,070			

支所027	項目名	気高地域活性化推進事業費			
主要な施策	新市域特別振興費		ページ	25	
年度	H26		事業の概要		
会計名			【問合せ先】 気高町総合支所 地域振興課 0857-82-0011		
一般会計			【9次総の施策体系】 2101、5201		
款	総務費		【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P292（支所O25）		
項	総務管理費		【事業の概要】 中山間地域振興推進員を配置し、芸術のまちづくりを推進するほか各種団体や組織のコーディネートを行い、地域の活性化に取り組む。フランク・ロードの整備もあわせて行う。		
目	企画費		【事業の成果】 ・平成24年度 82千円 市民と協働によるフランク・ロードの整備、京都造形芸術大学と地元中学生・ボランティアと協働によりヤサホーパーク内に砂像を制作し、展示した。 ・平成25年度 101千円 市民と協働によるフランク・ロードの整備、気高地域振興推進員の設置（緊急雇用創出事業で実施）し、映画のロケ地誘致・制作支援、地元若手芸術家による地域PR映像・作品制作、空き家を活用したギャラリー・アトリエの創設を行った。 ・平成26年度 1,768千円 中山間地域振興推進員を配置し、芸術のまちづくりを推進するほか各種団体や組織のコーディネートを行い、地域の活性化に取り組んだ。併せて、フランク・ロードの整備を行った。		
(単位：千円)			【後の課題・方向性】 外的、内的な環境変化に対応しつつ、地域住民との協働を推し進め地域の発展に取り組む必要がある。		
当初予算額	1,861		その他財源の内訳		
補正予算額	0		分担金	0	
予算流・充用額	0		負担金	0	
最終予算額	1,861		使用料	0	
本年度決算額	1,768		手数料	0	
区分	決算額		財産収入	0	
財源内訳	国・県支出金	0		寄付金	0
地方債	0		繰入金	135	
その他	135		贈収入	0	
一般財源	1,633		その他	0	
計	1,768				
(参考)			評価結果	山陰海岸ジオパークエリア拡大、気高道の駅（仮称）整備などを好機と捉え、地域の課題・問題点を踏まえ、より一層地域住民との協働のまちづくりを行っていく必要がある。	
前年度決算額	101				

支所028	項目名	地域おこし協力隊事業費(気高町)			
主要な施策	新市域特別振興費		ページ	25	
年度	H26		事業の概要		
会計名			【問合せ先】 気高町総合支所 地域振興課 0857-82-0011		
一般会計			【9次総の施策体系】 5104		
款	総務費		【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 6月補正予算・P86（支所O05）		
項	総務管理費		【事業の概要】 鳥取市西商工会が中心となり策定した「鳥取市西いなば地域振興グランドデザイン」の実現に向けて、大都市圏から地域おこし協力隊員を募集、採用し、地域活性化に取り組む。		
目	企画費		【事業の成果】 地域おこし協力隊員を2名採用し、気高道の駅（仮称）整備に伴うまちづくりの推進、山陰海岸ジオパークエリア拡大のPRを行った。 平成26年度は、PR活動としてフットバス全国大会プレ大会を実施したほか、気高道の駅（仮称）整備に向けた機運の醸成などに取り組んだ。		
(単位：千円)			【後の課題・方向性】 関係機関等と連携し、地域住民の意向を取り入れながら、地域の活性化を図っていく。		
当初予算額	0		その他財源の内訳		
補正予算額	3,851		分担金	0	
予算流・充用額	6		負担金	0	
最終予算額	3,857		使用料	0	
本年度決算額	3,275		手数料	0	
区分	決算額		財産収入	0	
財源内訳	国・県支出金	0		寄付金	0
地方債	0		繰入金	0	
その他	0		贈収入	0	
一般財源	3,275		その他	0	
計	3,275				
(参考)			評価結果	協力隊員の活動の側面的な支援をはじめ、将来を見据え定住につながる仕掛けづくりなど、人口増加、地域の活性化につなげる活動が必要である。	
前年度決算額	0				

支所029	項目名	ふるさと産業まつり(気多の市)補助金		
主要な施策	地域経済活性化促進事業費		ページ	39
年度	H26		事業の概要	
会計名			【問合せ先】 気高町総合支所 地域振興課 0857-82-0011	
一般会計			【9次総の施策体系】 5201	
款	商工費		【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P294 (支所029)	
項	商工費		【事業の概要】 商工業者と地域住民の交流を促進し商店街の賑わい創出と気高地域の活性化を目的に開催している。	
目	商工業振興費		【事業の成果】 気高地域の活性化と商工業者の育成発展、空き店舗の活用など商店街の再生と活性化につながっている。 平成24年度 300千円 (参加者4,500人) 平成25年度 300千円 (参加者4,500人) 平成26年度 300千円 (参加者1,500人)	
(単位:千円)			【今後の課題・方向性】 地域に密着した定着事業としての期待は高いものの、若手後継者の育成、地元企業の発展につながる事業となるよう、関係機関と協議を行う必要がある。	
当初予算額	300			
補正予算額	0			
予算流・充用額				
最終予算額	300			
本年度決算額	300			
区分	決算額		その他財源の内訳	
財源内訳	国・県支出金	0	分担金	0
	地方債	0	負担金	0
	その他	0	使用料	0
	一般財源	300	手数料	0
	計	300	財産収入	0
			寄付金	0
			繰入金	0
			諸収入	0
			その他	0
(参考)			評価結果	
前年度決算額	300		他の事業と共同開催する方法や開催時期、事業のあり方自体について、外部評価での指摘を踏まえ実行委員会のほか関係団体と引き続き協議を行い効果的、効率的な事業となるよう見直しを行う。経費の縮減についても、自己財源を確保するよう工夫しながら取り組むよう改善を図る。	

支所030	項目名	貝がら節まつり補助金		
主要な施策	観光キャンペーン事業費		ページ	40
年度	H26		事業の概要	
会計名			【問合せ先】 気高町総合支所 地域振興課 0857-82-0011	
一般会計			【9次総の施策体系】 5201	
款	商工費		【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P293 (支所028)	
項	商工費		【事業の概要】 昭和46年頃、「七夕祭り」として実施されていたものが「貝がら節祭り」と名称を変え、現在も気高地域を代表する夏祭りとして受け継がれている。 船磯海岸で水中花火の打ち上げや、芸能ステージの開催、浜村観光道路で太鼓や吹奏楽のミニコンサート及び貝がら節総踊りを実施する。	
目	観光費		【事業の成果】 貝がら節祭りは、気高地域の夏を代表するイベントとして定着しており、観光客の誘客に加えて、中高年層や子ども等幅広い年齢層が参加する地域住民の交流の場となっている。 平成24年度 4,207千円 (延べ参加者7,000人) 平成25年度 4,207千円 (延べ参加者6,000人) 平成26年度 4,017千円 (延べ参加者5,750人)	
(単位:千円)			【今後の課題・方向性】 鳥取自動車道の全線開通や鳥取西道路の今後の開通予定、旅館の新設により観光客の誘客が期待できるなど、今後、外部へのPRが重要となってくる。 地域の伝統である貝がら節祭りを地域住民が主体となって積極的に関わることで、地域全体が一体となり、貝がら節をはじめ地域の観光資源の魅力を広く対外的に広めることで、より一層の地域振興を実現する。	
当初予算額	4,017			
補正予算額	0			
予算流・充用額	0			
最終予算額	4,017			
本年度決算額	4,017			
区分	決算額		その他財源の内訳	
財源内訳	国・県支出金	0	分担金	0
	地方債	0	負担金	0
	その他	0	使用料	0
	一般財源	4,017	手数料	0
	計	4,017	財産収入	0
			寄付金	0
			繰入金	0
			諸収入	0
			その他	0
(参考)			評価結果	
前年度決算額	4,207		観客数の減少横ばい傾向を打破するため、ジオパークエリア拡大、山陰道西道路開通など機会をとらえ、新たなイベントメニューの開発による増加策を講じる必要がある。また、地域住民自らが自分たちの地域イベントとして盛り上げていくため、地域をあげてまつりに参加するよう年度当初から各集落等への働きかけなど、自主的に参加したい祭りとなるよう気運の醸成を図る必要がある。	

支所031	項目名	睦達大堤うぐい突き補助金		
主要な施策	各種団体補助金負担金		ページ	40
年度	H26		事業の概要	
会計名			【問合せ先】気高町総合支所 地域振興課 0857-82-0011	
一般会計			【9次総の施策体系】5201	
款	商工費		【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P292 (支所026)	
項	商工費		【事業の概要】 大堤池は農業用水として利用しており、毎年春に鯉や鮎を放流し、秋には池の底にたまつた泥やごみなどを取り除くとともに、放流した魚を捕獲するため水抜きを睦達大堤うぐい突き保存会が主体となって行っている。この水抜きにあわせて行う魚獲りが「うぐい突き」と呼ばれる珍しいもので、400年以上前から伝えられており、今でも地元の農家が伝承している伝統行事として行われている。「うぐい突き」は平成25年3月から国立歴史民俗博物館に常設展示され、全国的に貴重な伝統漁法である。	
目	観光費		【事業の成果】 うぐい突きをとおして、ため池の歴史や保全の必要性、地域の伝承行事と農業の関わりなどについて、広く市民に关心を持ってもらい、次の世代に継承している。 稚魚放流（4月）鯉の稚魚を約200匹の放流（逢坂小学校生徒参加） イベント開催（10月）約500名の参加	
(単位：千円)			平成24年度 93千円 参加者300名 平成25年度 93千円 参加者300名 平成26年度 200千円 参加者500名	
当初予算額	200		【その後の課題・方向性】 実行組織を拡充するとともに、逢坂小学校、逢坂むらづくり協議会など地元と連携し、より一層地域住民のニーズ把握を図り、イベントを盛り上げていく。	
補正予算額	0			
予算流・充用額	0			
最終予算額	200			
本年度決算額	200			
区分	決算額		その他財源の内訳	
財源内訳	国・県支出金	0	分担金	0
	地方債	0	負担金	0
	その他	200	使用料	0
	一般財源	0	手数料	0
	計	200	財産収入	0
			寄付金	0
			繰入金	200
			賃収入	0
			その他	0
(参考)			【評価結果】 保存会だけの活動にとどまらず、地区公民館や小学校などと連携し、子ども向けの漁具「うぐい」づくりやほかのイベントと共同開催するなど参加者を増やす工夫が必要である。また、地元の食材を活かした食事を提供する場所を設け魅力向上を目指す。伝統漁法として大切に後世に伝承するとともに、地域住民の交流を促進し広く市民の関心を喚起し地域の賑わいを創出したい。	
前年度決算額	93			

支所032	項目名	貝がら節の郷づくり協議会補助金		
主要な施策	各種団体補助金負担金		ページ	40
年度	H26		事業の概要	
会計名			【問合せ先】気高町総合支所 地域振興課 0857-82-0011	
一般会計			【9次総の施策体系】5201	
款	商工費		【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P293 (支所027)	
項	商工費		【事業の概要】 民謡「貝がら節」と地元特産物の「しょうが」、「温泉」をキーワードに、気高地域の発展、活性化を目指し、鳥取西地域への観光客の誘致を促進する。	
目	観光費		【事業の成果】 「貝がら節」「しょうが」「温泉」をキーワードに、鳥取西地域への観光客の誘致を促進した。 平成24年度 1,571千円 地元中学生・ボランティアが京都造形芸術大学と協働で砂像を作製 平成25年度 1,598千円 若手芸術家を中心とする地元ボランティアが京都造形芸術大学と協働で砂像を作製浜村、逢坂のまちづくり協議会との交流 平成26年度 1,518千円 浜村温泉映画祭の開催、しょうがぼかぼかフェスタ2015の開催	
(単位：千円)			【その後の課題・方向性】 地域住民の意見を取り入れ、より一層の活動を盛り上げていく。	
当初予算額	1,518			
補正予算額	0			
予算流・充用額	0			
最終予算額	1,518		その他財源の内訳	
本年度決算額	1,518		分担金	0
区分	決算額		負担金	0
財源内訳	国・県支出金	568	使用料	0
	地方債	0	手数料	0
	その他	0	財産収入	0
	一般財源	950	寄付金	0
	計	1,518	繰入金	0
			賃収入	0
			その他	0
(参考)			【評価結果】 全国的な有名な「貝がら節」をキーワードに、気高地域への観光客の流入を促し交流人口を増やすとともに、産業・文化の振興など地域の活性化を促したい。	
前年度決算額	1,598			

支所033	項目名	気高スカラップ杯中学校バレー大会補助金		
主要な施策	気高スカラップ杯中学校バレー大会補助金		ページ	48
年度	H26		事業の概要	
会計名			教育委員会事務局 気高町分室	
一般会計				
款	教育費		【問合せ先】 教育委員会事務局 気高町分室 0857-82-1411	
項	保健体育費		【9次総の施策体系】 3103	
目	体育振興費		【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P294 (支所030)	
(単位:千円)				
当初予算額	500		【事業の概要】 平成9年3月に旧気高町主催で初開催。市町村合併後より気高スカラップ杯と名称変更し、鳥取市バレー協会主催で開催している。中国・四国・近畿地方からトップレベルの中学生チーム男女各12チームが参加し、予選リーグ及び決勝トーナメントを行う。	
補正予算額	0		【事業の成果】 中学生に広くバレーの実践の機会を与え、技術の向上とスポーツ精神の高揚を図り、心とともに健康な中学生を育成することを目的に開催。	
予算流・充用額	0		県外選手との交流の場を設けることにより、県域を超えた親睦が深まり、県外からの選手、保護者等が市内に宿泊することによる経済的効果も大きい。	
最終予算額	500		◎平成24年度 平成25年3月30日(土)・31日(日)選手400名参加。 男子優勝=菊間北郷(今治市)、準優勝=安来第三(安来市) 女子優勝=米子北斗(米子市)、準優勝=綾歌(丸亀市)	
本年度決算額	500		◎平成25年度 平成26年3月22日(土)・23日(日)選手400名参加。 男子優勝=気高(鳥取市)、準優勝=大嶺(山口) 女子優勝=口田(広島)、準優勝=南中(鳥取市)	
区分	決算額		◎平成26年度 平成27年3月21日(土)・22日(日)選手450名参加。 男子優勝=大川(香川)、準優勝=大東(島根) 女子優勝=口田(広島)、準優勝=気高(鳥取市)	
財源内訳	国・県支出金	0	【今後の課題・方向性】 バレーボールの町気高町の伝統もあり住民の関心は高い。26年度は青谷町農林業者トレーニングセンターも会場にするなど、近隣の住民にも関心をもっていただけるよう取り組んだ。今後も町外へのPR方法等を検討し、より多くの住民に観戦していただけるよう取り組んでいく。	
	地方債	0		
	その他	0		
	一般財源	500		
	計	500		
(参考)				
前年度決算額	500		評価結果	当大会は、中学生のみならず県外の選手、保護者等が気高地域に宿泊すること、更に地域情報が県内外へ発信されるなど経済効果も十分に見込まれる。今後も多くの市民に参加、観戦してもらえるよう効果的なPR方法等を検討し、継続実施するものとする。

支所034	項目名	鹿野地域活性化推進事業費		
主要な施策	新市域特別振興費		ページ	25
年度	H26		事業の概要	
会計名			鹿野町総合支所 地域振興課	
一般会計				
款	総務費		【問合せ先】 鹿野町総合支所 地域振興課 0857-84-2011	
項	総務管理費		【9次総の施策体系】 2101	
目	企画費		【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P295 (支所031)	
(単位:千円)				
当初予算額	708		【事業の概要】 鹿野地域は「四季薫るまち鹿野」を基本理念として、協働のまちづくりを進めている。地域住民の方や鹿野を訪れた方に四季の花を通じて、安らぎとゆとりを感じることができるものを目指す。コスモス・菜の花による景観整備60a・蓮田による景観整備12a	
補正予算額	0		【事業の成果】 市民と総合支所の協働を基本とした事業を実施することにより鹿野地域の振興を図るとともに、地域の一体感の醸成と地域の活性化を推進した。	
予算流・充用額	0		平成24年度 584千円 平成25年度 488千円 平成26年度 540千円	
最終予算額	708		【今後の課題・方向性】 より一層地域住民との協働のまちづくりを行っていき、地域の活性化を図る。	
本年度決算額	540			
区分	決算額			
財源内訳	国・県支出金	0		
	地方債	0		
	その他	146		
	一般財源	394		
	計	540		
(参考)				
前年度決算額	488		評価結果	鹿野地域の交流人口増加に向けて、地域住民との協働によるまちづくりをより一層推進する必要がある。 道の駅の整備構想にあわせて、魅力ある地域を売り出すためにも地域住民の意識を高め、地域活性化へ向けた事業展開が必要となる。

支所035	項目名	地域おこし協力隊事業費(鹿野町)		
主要な施策	新市域特別振興費		ページ	25
年度	H26		事業の概要	
会計名				
一般会計				
款	総務費			
項	総務管理費			
目	企画費			
(単位:千円)				
当初予算額	0			
補正予算額	2,864			
予算流・充用額	△ 21			
最終予算額	2,843			
本年度決算額	2,143			
区分	決算額	その他財源の内訳		
財源内訳		分担金	0	
	国・県支出金	負担金	0	
	地方債	使用料	0	
	その他	手数料	0	
	一般財源	財産収入	0	
	計	寄付金	0	
		繰入金	0	
		賃収入	0	
		その他	0	
(参考)				
前年度決算額	0			
評価結果	鹿野町の魅力創出と住民の生活支援をすすめ、ある程度方向性を出し、事業を絞って活動していくことが必要である。			

支所036	項目名	わったいな祭事業費		
主要な施策	観光キャンペーン事業費		ページ	40
年度	H26		事業の概要	
会計名				
一般会計				
款	商工費			
項	商工費			
目	観光費			
(単位:千円)				
当初予算額	2,769			
補正予算額	0			
予算流・充用額	0			
最終予算額	2,769			
本年度決算額	2,721			
区分	決算額	その他財源の内訳		
財源内訳		分担金	0	
	国・県支出金	負担金	0	
	地方債	使用料	0	
	その他	手数料	0	
	一般財源	財産収入	0	
	計	寄付金	0	
		繰入金	0	
		賃収入	0	
		その他	0	
(参考)				
前年度決算額	1,113			
評価結果	継続的に交流人口を増加させるためには、毎年新たなイベントを企画するなど来場者を飽きさせない取り組みが必要である。運営方法のあり方の見直しを含め、変化に富んだ企画を立てていくことが重要である。			

支所037	項目名	観光イベント開催補助金(鹿野まつり花火大会)		
主要な施策	各種団体補助金負担金		ページ	40
年度	H26		事業の概要	
会計名	【問合せ先】鹿野町総合支所 地域振興課 0857-84-2011			
一般会計				
款	商工費		【9次総の施策体系】2101	
項	商工費		【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P296(支所033)	
目	観光費		【事業の概要】 鹿野城跡公園の桜まつりと隔年開催の「鹿野祭」にあわせた観光イベントとして花火大会を支援することにより交流人口の増加を図る。	
(単位:千円)				
当初予算額	910		【事業の成果】 春の花火は全国的に珍しいことから、県内外から多くの観光客や写真愛好家が鹿野地域を訪れた。 (実施主体 鹿野桜まつり実行委員会) 平成22年度 910千円 平成24年度 910千円 平成26年度 910千円	
補正予算額	0			
予算流・充用額	0			
最終予算額	910		【今後の課題・方向性】 2年に一度の春の鹿野地域の主要なイベントであり継続する。	
本年度決算額	910			
区分	決算額		その他財源の内訳	
財源内訳	国・県支出金	0	分担金	0
	地方債	0	負担金	0
	その他	0	使用料	0
	一般財源	910	手数料	0
	計	910	財産収入	0
			寄付金	0
			繰入金	0
			賃収入	0
			その他	0
(参考)				
前年度決算額	0		評価結果	鹿野城跡の桜が有名であり、観光客の数が年々増加している。 本事業も桜の開花時期であり、花火単独の支援ではなく春のイベント全体で捉え、有効な支援をする必要がある。

支所038	項目名	町民音楽祭開催費(鹿野町)		
主要な施策	市民音楽祭開催費		ページ	46
年度	H26		事業の概要	
会計名	【問合せ先】鹿野町総合支所 地域振興課 0857-84-2011			
一般会計				
款	教育費		【9次総の施策体系】1201	
項	社会教育費		【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P296(支所034)	
目	文化振興費		【事業の概要】 「上演演目」 第28回ふるさとミュージカル「さくら姫物語」 「上演期日」 平成27年1月24日、25日 「上演場所」 鳥の劇場 「事業主体」 鹿野町民音楽祭実行委員会 「総事業費」 4,140千円	
(単位:千円)				
当初予算額	3,200		【事業の成果】 地域内指導者の育成や市内舞台芸術団体との連携強化に努め、プロとアマチュアが協働して創り上げる鳥取スタイルの市民ミュージカルとして県内外への情報発信を強化し、自分たちで演出を行った。 制作期間は約半年間に及び、この間展開した広い年齢層の市民交流は、良好な市民コミュニティづくりに貢献した。	
補正予算額	0		平成24年度 3,200千円 753人(中央公民館) 平成25年度 3,200千円 782人(中央公民館) 平成26年度 3,200千円 381人(鳥の劇場)	
予算流・充用額	0			
最終予算額	3,200		【今後の課題・方向性】 30回目の公演を目処に「鳥の劇場」(H27改修予定)の利活用も含め、より効率的な運営方法や全市的な取り組みとなるよう最善の方法を検討していく。	
本年度決算額	3,200			
区分	決算額		その他財源の内訳	
財源内訳	国・県支出金	0	分担金	0
	地方債	0	負担金	0
	その他	0	使用料	0
	一般財源	3,200	手数料	0
	計	3,200	財産収入	0
			寄付金	0
			繰入金	0
			賃収入	0
			その他	0
(参考)				
前年度決算額	3,200		評価結果	効率的な運営方法の検討や自主財源の確保の検討が必要であるが、多世代間の住民コミュニティの醸成や文化芸術の振興を勘案すれば、支援は必要である。

支所039	項目名	スポーツクラブ鹿の助委託金		
主要な施策	総合型地域スポーツクラブ育成事業費		ページ	48
年度	H26		事業の概要	
会計名			【問合せ先】教育委員会事務局 鹿野町分室 0857-84-2131	
一般会計			【9次総の施策体系】3103	
款	教育費		【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P297(支所035)	
項	保健体育費			
目	体育振興費			
(単位:千円)				
当初予算額	267		【事業の概要】 トレーニングルーム等の利用促進、スポーツをしていない人でも気軽に参加できる教室健康・体力づくりをメインテーマとしたスポーツ教室等の開催を委託。 (ストレッチ教室、トレーニング器具利用講習、柔道教室、トレーニングルームを利用した健康教室)	
補正予算額	0		委託先 総合型スポーツクラブ鹿の助	
予算流・充用額	0			
最終予算額	267		【事業の成果】 スポーツ教室を3教室開催 トレーニングルームの機器利用の指導 平成24年度 204千円 870人 平成25年度 266千円 1,158人 平成26年度 267千円 1,805人	
本年度決算額	267		【今後の課題・方向性】 鹿野地域の健康増進、体力づくりに向けてスポーツクラブが自主事業を展開するとともに、各種事業の共催を目指す。	
区分	決算額			
財源内訳	国・県支出金	0		
	地方債	0		
	その他	0		
	一般財源	267		
	計	267		
(参考)				
前年度決算額	266		評価結果	鹿野地域での健康増進や体力づくりにおいて、スポーツクラブの自主事業や各種団体同士が共催で取り組む方法など実施方法を変更していく必要がある。

支所040	項目名	日中韓高校生国際シンポジウム開催事業		
主要な施策	国際交流促進費		ページ	25
年度	H26		事業の概要	
会計名			【問合せ先】青谷町総合支所 地域振興課 0857-85-0011	
一般会計			【9次総の施策体系】5401	
款	総務費		【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P297(支所036)	
項	総務管理費			
目	企画費			
(単位:千円)				
当初予算額	677		【事業の概要】 1回目となる日中韓高校生国際シンポジウムは、青谷高校生をはじめとする青少年の国際理解を通じた人材育成を図るため、9月下旬、青谷高校を会場に開催。交流都市として友好を深めている中国太倉市から太倉中央高等学校の生徒等と、韓国居昌郡の居昌中央高等学校から生徒等を招致しシンポジウムを開催し、地域住民の参加も呼びかけ友好交流を深めている。	
補正予算額	0		中国と韓国から訪問団を4日間にわたり受け入れる。シンポジウムでは、日本・中国・韓国の代表者各1名がサブテーマに沿って意見発表を行い、会場一体となつた意見交換を行い、直接外国の若者の意見を聞ける場やふれあう場を提供し、国際理解教育と国際交流の推進を図る。	
予算流・充用額	0			
最終予算額	677		【事業の成果】 平成24年度 367千円 9月27日実施(25日~28日) 韓国5名(その他17名)受入	
本年度決算額	409		平成25年度 394千円 9月26日実施(24日~27日) 韓国5名(その他15名)受入	
区分	決算額		平成26年度 409千円 9月25日実施(23日~26日) 韓国5名(その他15名)受入	
財源内訳	国・県支出金	0		
	地方債	0		
	その他	0		
	一般財源	409		
	計	409		
(参考)				
前年度決算額	394		評価結果	高校生をはじめとする青少年の国際理解を通じた人材育成だけでなく、青谷地域さらには市全域の国際交流を推進するため、より多くの一般市民がシンポジウムへの理解や関心を深め、関わりを増やす必要がある。

支所041	項目名	青谷地域活性化推進事業費		
主要な施策	新市域特別振興費		ページ	25
年度	H26		事業の概要	
会計名	【問合せ先】青谷町総合支所 地域振興課 0857-85-0011			
一般会計				
款	【9次総の施策体系】0102			
項	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P298(支所037)			
目	(単位：千円)			
当初予算額	1,024			
補正予算額	0			
予算流・充用額	0			
最終予算額	1,024			
本年度決算額	995			
区分	決算額	その他財源の内訳		
財源内訳		分担金	0	
国・県支出金	0	負担金	0	
地方債	0	使用料	0	
その他	296	手数料	0	
一般財源	699	財産収入	0	
計	995	寄付金	0	
その他	0	繙入金	296	
(参考)		諸収入	0	
前年度決算額	655	評価結果	青谷地域の活性化のため引き続き事業を実施し、住民による地域づくり活動を支援していく。	

支所042	項目名	青谷ようこそまつり事業補助金		
主要な施策	観光キャンペーン事業費		ページ	40
年度	H26		事業の概要	
会計名	【問合せ先】青谷町総合支所 地域振興課 0857-85-0011			
一般会計				
款	【9次総の施策体系】5201			
項	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P298(支所038)			
目	(単位：千円)			
当初予算額	3,701			
補正予算額	0			
予算流・充用額	0			
最終予算額	3,701			
本年度決算額	3,695			
区分	決算額	その他財源の内訳		
財源内訳		分担金	0	
国・県支出金	0	負担金	0	
地方債	0	使用料	0	
その他	0	手数料	0	
一般財源	3,695	財産収入	0	
計	3,695	寄付金	0	
その他	0	繙入金	0	
(参考)		諸収入	0	
前年度決算額	1,361	評価結果	因州和紙の魅了等のPRの場となるような新たな企画を盛り込むとともに、青谷の特色を盛り込んだ地域住民主体の「まつり」となるよう改善する。	

支所043	項目名	あおや和紙工房管理事業費(企画展示事業分)		
主要な施策	伝統産業等支援事業費		ページ	39
年度	H26		事業の概要	
会計名			【問合せ先】青谷町総合支所 産業建設課 0857-85-0015	
一般会計			【9次総の施策体系】5102	
款	商工費		【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P299(支所039)	
項	商工費			
目	商工業振興費			
(単位:千円)				
当初予算額	3,500		【事業の概要】 平成14年8月に特産品の因州和紙のPRと町の活性化を目指し「あおや和紙工房」が開館。青谷の特産品であり伝統工芸品である因州和紙をテーマとする企画展を実施し、因州和紙の美点・有用性の発信および芸術作品等の展示などの情報提供を行うもの。 (1) 業務名: あおや和紙工房企画展運営業務委託 (2) 目的: 交流人口の増加による和紙産業振興および地域活性化 (3) 受託者: 公益財団法人 鳥取市文化財団(あおや和紙工房指定管理者) ※指定管理事業とは区別した随意契約による業務	
補正予算額	0			
予算流・充用額	0			
最終予算額	3,500		【事業の成果】 和紙をモチーフとした様々な展覧会を開催することにより、和紙の持つ魅力と可能性をPRすることができる。また、展覧会開催により鳥取市内外から多くの観光客が青谷町を訪れており、入館者数も増加傾向にある。 平成24年度: 入館者 18,236人 (16,690人) 平成25年度: 入館者 18,581人 (14,249人) 平成26年度: 入館者 22,613人 (21,957人) ※()は、企画展及び特別展入館者数	
本年度決算額	3,500		【今後の課題・方向性】 入館者と利用者の増加及び因州和紙のPRを促進する。	
区分	決算額			
財源内訳				
国・県支出金	0			
地方債	3,500			
その他	0			
一般財源	0			
計	3,500			
(参考)				
前年度決算額	3,500		評価結果	企画展は効率的な集客方法であり、またPR方法でもある。当事業を継続することが望ましい。

支所044	項目名	あおや夏祭り事業		
主要な施策	観光キャンペーン事業費		ページ	40
年度	H26		事業の概要	
会計名			【問合せ先】青谷町総合支所 産業建設課 0857-85-0015	
一般会計			【9次総の施策体系】5201	
款	商工費		【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P299(支所040)	
項	商工費			
目	観光費			
(単位:千円)				
当初予算額	615		【事業の概要】 平成27年度で18回目の開催となる夏のイベントである「あおや夏まつり」の事業実施に対する補助金。 (1) 補助金名: あおや夏まつり事業補助金 (2) 目的: 観光振興及び商業振興 (3) 内容: ステージイベント、屋台などの会場イベント (4) 事業主体: 鳥取市西商工会	
補正予算額	0			
予算流・充用額	0			
最終予算額	615		【事業の成果】 継続して実施され、多くの地域住民に愛され親しまれている。実施主体と地域との連携が図られ、地域振興にもつながる事業である。また賑やかなステージイベント開催等により町外からの入場者もあり、交流人口の増加が見込まれる。 平成24年度 633千円 (入場者 2,000人) 平成25年度 633千円 (入場者 2,000人) 平成26年度 615千円 (入場者 2,000人)	
本年度決算額	615		【今後の課題・方向性】 実施主体の後継者不足等の課題は残るが、地域の夏の一大イベントとして継続して支援していくこと必要である。今後も内容等を工夫し続け地区外からの入場者増加に努める。	
区分	決算額			
財源内訳				
国・県支出金	0			
地方債	0			
その他	0			
一般財源	615			
計	615			
(参考)				
前年度決算額	633		評価結果	観光及び商業振興を図ることを目的としているが、夏の一大イベントとしても定着し多くの地域住民に親しまれている。多様なステージイベントやバザーに多くの来場者が訪れ、商業関係者の志気存続にもつながっているため、当事業は現状維持としたい。